

2-2. 車両重量／寸法の異なる車両相互の事故分析

背景・目的

車両重量／寸法の異なる車両相互事故での乗員被害を軽減させる為に、現状の事故実態を把握し今後の対策に繋げていく為の基礎資料を得ることである。本年度は普通貨物自動車と普通貨物自動車より小型の車両が衝突した場合の事故について調査・分析を行う。

概要

(1) マクロ分析より

- ・ 死傷者数の7割は普通貨物車が普通貨物車より軽量となる車両に追突時に発生。
- ・ 死亡・重傷者数では正面衝突事故時が51%と最も多い。

(2) ミクロ分析より

①：正面衝突事故について

事故の発生原因は、居眠り・わき見・集中力低下で半数を占めている。主に乗用車側の原因（居眠り、わき見等）により乗用車が対向車線に進入し、普通貨物車に正面衝突。

②：追突事故について

事故原因は追突側車両運転手の脇見が最も多い。又覚醒時の事故が9割以上であった。

③：対策

事故防止には車線逸脱警報やふらつき警報、衝突被害軽減ブレーキ等の予防安全装備が有効と考えられる。

今後の課題

車線逸脱警報装置及び衝突被害軽減ブレーキ等普及率が向上した時点にて効果の確認を検証する必要がある。